

インターネットTV授業

5・6年家庭科学習指導案

指導者 山田小 津谷 徹

授業日：平成18年2月14日（火）10：45～11：30（6年教室）

1. 単元名 5年「快適な住まい方を考えよう」
6年「地域とのつながりを広げよう」
2. ねらい 5年：住まいの役割や住まい方について考えることができる。
6年：地域の生活上の課題をみつけ、実行できることを考える。
3. 本時の実際

センターの支援（◇）	5年：学習活動と子どもの動き	時間	時間	6年：学習活動と子どもの動き	センターの支援（◇）
○大雪の話为例に、快適な住まい方について話をします。	1. 本時のめあてを確かめる。 快適な住まい方について考えよう。	10:45 直接 5分	10:45 間接 5分	1. 教科書P90の絵の中で、よいこと、気になることをそれぞれ探し、ノートに書き出す。	○簡単に作業の指示をする。
◇住まいの役割について、発問をして、住まいの役割に気づかせる。	2. 住まいには、どんな役割があるのか考える。 ・自然から身を守る（雨風雪） ・家族で安心して暮らす ・健康的な暮らしをする ・子どもを育てる ・財産を守る	10:50 TV 15分	10:50 直接 15分	2. 本時のめあてを確かめる。 自分たちの地域の生活上の課題をみつけ、自分たちに実行できることを考えよう。	○本時のめあてを板書する。毎年行っているボランティアについて触れる。（敬老の日、年賀状、80歳以上のお年寄り宅訪問、ごみ拾い・雪かきなど）
◇明るさ、暖かさ、風通しなどを調べてみようとして投げかけ、方法を教える。	3. 家族と健康で快適に住もうには、どんなことに気をつけたらよいか考える。 ・明るさ ・暖かさ ・風通し ・その他	11:05 TV 15分	11:05 直接 15分	3. 地域にどんな課題がありそうか話し合う。	○3人ずつ話し合わせる。 ○机間指導をする。
○自分の家の住まい方の工夫、問題点を調べる方法について助言する。	4. 自分の家では、どんな住まい方の工夫をしているか、また、問題点はないか調べる方法を話し合う。 ・家に人に聞く。 ・家をよく観察する。	11:20 直接 10分	11:20 間接 10分	4. 課題について、自分たちにできそうなことを考える。 5. 地域のために自分たちでできそうなことを発表する。	○子どもに実行できそうなことをいくつか出させるとともに、よりよいものを考えるように助言する。 ◇子どもから出された活動を聞いてアドバイスをします。

- <疑問点>
1. 今回は敢えてわたりの場面を3回ほど設けました。直接指導のところは、私がやる予定の所です。TVと書いてある部分と、間接指導の◇の部分をお願いしたいと考えています。個々の流れ等についてご意見をお願いします。（単純に5年生をセンターで、6年生を私が、という形のほうがよろしいのでしょうか。）
 2. 5年、6年とも小単元の導入部です。次時に住まい方の工夫や課題を調べたり、ボランティア（奉仕活動）の活動計画を立てたりします。